

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 012	提案機関名 全国農業協同組合連合会神奈川県本部
要望問題名 生産振興品目としてのアボカド栽培	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 カンキツ類を中心とした当地域の果樹生産においては、近年の価格低迷や市場環境の変化などを背景に、所得向上につながる新たな品目の導入が重要な課題となっております。そのような中で、湘南ゴールドや湘南潮彩レモンの振興に加え、アボカドの導入可能性に関する県の試験研究に対し、深く感謝しております。現在のところ「ベーコン」種が安定した生育傾向にあるとのこと、期待を高めています。つきましては、令和7年度より予定している新たな試験研究課題の設定に加え、現地実装・普及に向けた技術の確立とともに、中長期的なスケジュール（試験の進捗、実用化の見通し等）の作成と情報共有をお願いします。また、アボカドの導入が地域の果樹生産の多角化および持続可能な振興に資するよう、継続的かつ実践的な試験・研究への取り組みを今後も継続いただけますよう、改めて要望いたします。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II-2(1)エ 果樹の高品質・安定生産技術の開発 (ソ) 県西地域に適したアボカド栽培技術の確立		
対応の内容等	当所では、2017年度よりアボカドの中で耐寒性の強い品種を中心に、生育調査を実施し、‘メキシコラ’、‘ウィンターメキシカン’、‘ベーコン’、‘フェルテ’を県西地域に適した品種として選定しました。本年度は、栽培技術確立のため、袋掛け栽培によるカメムシ類・炭疽病防除対策や貯蔵性について試験を実施しております。令和8年度以降は、せん定方法や各品種の収穫適期、農薬散布と袋掛けによる病害虫防除対策等を検討し、現地への普及に向けた栽培技術を確立していきます。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			